

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	グループホームとして地域とどのようにして関わりを持ち、付き合っていくか工夫が必要である。	利用者だけでなく職員も含めたグループホーム全体での地域とのつながりに努める	高齢者サロンや芸術祭などへの参加や施設スタッフによる介護教室などの開催に取り組む	12か月
2	35	現在、年1回の夜間想定避難訓練を行なうだけでなく、同時に、全職員が避難方法を理解しているとは言い難い。	グループホーム全職員が昼夜問わず避難方法を理解し、身に付けるように努める	昼間想定避難訓練を地域住民参加にとらわれず、年数回の実施に取り組む。	12か月
3	48	役割、楽しみごとの支援が足りないと全職員が感じている。	楽しんで生活が出来るような諸活動の支援に努める。	機能訓練を兼ねた集団レクの実施。 手工芸や漬物作り等を通して利用者同士の関わり合い支援。	12か月
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。